

事業名	救急医療対策費			調査番号	36
細事業名	救急医療体制運営事業費	財務コード	084702		
担当部課室	福祉保健 部 医務 課 医療整備 担当 (内線)	3406			

## I 事業の概要

実施期間	始期 H16 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	医療機関		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	救急救命士	病院において、麻酔科専門医の下に実際の患者の症例を経験する機会が提供されている。	救急救命士の資質の向上
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療損失医療費に対する助成 (補助率7/10、県単)</li> <li>救急医療情報システムの運営 (役務、委託)</li> <li>気管挿管実習を行う病院に対する助成 (補助率10/10、国1/2、県1/2)</li> </ul>		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	病院における気管挿管実習修了者数(有資格者の再受講を含む)	目標	24	72	32	14	14	12	15
		実績(見込)	72	32	14	14	12	15	
		達成率	300.0	44.4	43.8	100.0	85.7	125.0	
		達成区分	a	c	c	b	b		
成果指標	気管挿管認定救急救命士数	目標	70	114	120	129	138	141	
		実績(見込)	114	120	129	138	141		
		達成率	162.9	105.3	107.5	107.0	102.2	0.0	
		達成区分	b	c	b	b	b		
決算(予算) 単位: 千円		62,948	65,301	61,247	66,384	71,319	78,850	79,597	

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	平成24年度と比較すると減少しているが、近年は一定の活動量が確保されている。
成果指標	b		気管挿管認定救急救命士数は年々増加しており、期待された成果が生じている。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	継続的な実習機会の提供により、気管挿管認定救急救命士数の増加が可能である。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明			
見直しの必要性	有	継続的な実習機会を提供するため、病院の受け入れを促進する必要がある。		

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	県メディカルコントロール協議会において、気管挿管実習の効果及び必要性等を改めて周知し、継続的な受け入れを促す。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。